

# 北九州市民の会ニュース

## 大成功！ 今年の戦争展はよかった！

8月18日(土)・19日(日)、「第24回平和のための戦争展in北九州」が開催されました。延べ参加者は790名。望月衣塑子さんの記念講演は、参加者(280名)を魅了しました。舞台狭しと駆け回り、会場は爆笑と熱気に包まれました。歌声も、青年の主張も、語り部の皆さんのお話も、感動で聞き入りました。市民ギャラリーに展示された写真と資料は、ゆっくりと鑑賞ができ、来訪者(410名)の皆さんから戦争に対する思いが伝わった多くの感想文が寄せられました。今年の戦争展は大成功でした。



## 県労連が定期大会

8月19日(日)10時から、福岡市第3階成ビル4階会議室で、福岡県労連第29回定期大会が代議員、傍聴者、役員、来賓など110人を超える参加で大きな成功を収めました。出席した来賓は、全労連小田川議長、福岡県春闘共闘連絡会福岡市職労辻永書記長、自由法曹団山本弁護士、日本共産党田村衆議院議員、無所属野田参議院議員、社民党佐々木国会議員で、それぞれから祝辞とこれからの取り組みに対する決意が述べられました。

日本共産党からは、高瀬国会議員、山口国会議員、木下労働部長も参加しました。江口議長の挨拶に始まり、福山事務局次長の経過報告、決算報告は小川事務局次長、運動方針は道下事務局長が提案し、代議員の発言で補強され賛成多数で採択されました。役員選挙は、74人の代議員が投票し、最高得票数74

最低得票数73で全員信任されました。新しく議長に就任した山下議長は、新役員を代表して「4万県労連を目指しがんばる」と決意。最後は、山下新議長音頭の「団結がんばろう」で閉めました。(堀田和夫FBより)

## 学校ウオッチング11年間で 125校を視察訪問

2018年8月23日、「北九州市の公共施設を良くする会」は、14校の小中高学校を25団体、145名参加で視察しました。この会は2008年4月に発足して11年目を迎えました。参加団体は、福岡県建設労働組合、新日本婦人の会、北九州地区労働組合総連合、年金者組合、民主商工会、全教、小倉タイムス、日本共産党北九州市議団などです。

公共施設を市民の目でチェックし、市民にとって安全で使いやすい施設にしていくことを目的とした活動です。これまで、小・中学校などの協力を得て、子どもたちの快適な教育環境と施設周辺地域の安心・安全な環境の実現を願い、施設改善を中心に市教育委員会へ要望書を提出してきました。

今回も、学校施設を一般的に調査することとし、教室などの建屋の状況や屋外の運動場・遊具、学校施設内の安全確保、避難所などの点についても視察しました。



## 猛暑でも、金曜行動は、熱く続く

8月24日(金)、さよなら原発北九州連絡会の第310回目の金曜行動。署名を呼びかけ、歌って、コールして原発なくそうと呼びかけました。この異常猛暑で、九州電力は高齢者の熱中症防止に電気の使用を呼びかけています。電気の安定供給が続いています。即ち電気は足りています。原発止めて、再生可能エネルギーに置き換えましょう。(田村貴昭氏FBより)

## 元気が出た！ 高田健さん講演会に100名

8月25日(土)、「平和をあきらめない北九州ネット」は、高田健さん(総がかり行動実

平和とくらしを守る北九州市民の会  
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F  
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346  
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>  
e-mail:koe@siminnokai.com

行委員会共同代表)を招き「安部9条改憲阻止へ!確信をもって戦い続けよう」と題した講演を聞き、3000万署名に向けて、全力で取り組む決意を共有することができた講演会となった。勝利するには沖縄の辺野古の闘いや国会前の闘いをはじめ、「市民の非暴力直接行動」と、「選挙への市民の参加」を「車の両輪」でたたくことと、「国民投票で勝負」ではなく、3000万署名など、改憲派が発議しても勝てそうもないと思うような状況、改憲発議ができない状況を作りだそうと熱く訴えられた。最後は、全員「頑張ろう!」で決意を固めた。



### 八幡市民会館を保存! 市民運動の成果!

北九州市は日本を代表する建築家の村野藤吾(1891~1984)が設計し、2016年3月に閉館した旧八幡市民会館(北九州市八幡東区)を保存する方針を固めた。30日に正式発表する。市立埋蔵文化財センター(同市小倉北区)の展示、保管機能を移設する。住民や専門家から解体せずに再利用を望む要望が出ていた。耐震工事などの関連費用は十数億円(西日本新聞8.28夕刊より)。同記事は、毎日新聞朝刊が最初に報道。

「八幡市民会館の活用を求める連絡会」には、支援する皆さんから「よかったですね!」というエールの声がたくさん届けられました。連絡会では、今後の対応を次回(9月11日)に検討する。

### 風力発電について北九州市に要請書提出 若松の3つの市民運動団体

8月30日、若松区の「若松のエネルギー基地化を考える会」「響灘を危険物ごみ捨て場にするなの会」「平和とくらしを守るわかまつ区民の会」は、北九州市長に対して、若松沖に設置予定の洋上風力発電施設について、低周波を調査して影響を防ぐ方法等の住民が安心して生活できる対策を取るよう要請しました。具体的には、洋上及び陸上風力発電によって発生する低周波の測定器を設置し、測定値を市民に公表するよう求めています。市は環境局地域エネルギー推進課と港湾空港局エネルギー拠点化推進課が対応しました。

### 「沖縄と私たちの暮らしを考える会」が 宣伝行動の呼びかけ

8月24日付で、「沖縄と私たちの暮らしを考える会」が、沖縄連帯小倉駅大宣伝行動をすることを関係団体に呼びかけました。同会は、2018年1月16日の三上智恵さん講演会を主催し、北九州市民の会は共催団体でした。「沖縄の問題は日本の問題」との認識を広めるため、9月18日(火)に沖縄連帯大宣伝行動を企画しました。日程が迫り急な呼びかけになったようですが、市民の会として、宣伝行動を成功させるため全力で取り組みたいと提案させていただきます。

#### < 沖縄連帯小倉駅大宣伝行動 >

日時: 9月18日(火) 18:00~19:00

場所: 小倉駅南口デッキ上

規模: 300人目標

内容案: ① 署名行動

「辺野古新基地建設工事の中止と普間基地の無条件撤去を求める請願」署名

② ビラ配布

③ 各団体からのリレートーク

④ 参加者は辺野古ブルーを身に着ける

⑤ 歩行者の目に訴えかけるパネル・横断幕等の作成

#### < 事前実行委員会の開催 >

日時: 9月5日(水)18:30~

場所: 公益財団法人健和会本部6階会議室

内容: ① 参加団体の確認

② 当日の宣伝行動内容検討

③ リレートーク発言者・内容検討

④ 当日の宣伝物確認

⑤ その後の取り組みなど意見交換

連絡先: 公益財団法人健和会本部総務教育部  
八木

電話: 093-592-3311 F A X: 093-592-2722

e-mail: yagi@kenwakai.gr.jp

#### さよなら原発金曜行動

18:00~19:00

小倉駅デッキ

9月7日、9月14日

9月21日、9月28日